

NPO 法人

全日本語りネットワーク

〒376-0045 群馬県桐生市末広町 11-1

JR 桐生駅構内 桐生市民活動推進センター

(Fax) 0277-47-4066 (振替) 00130 - 2 - 114808

(E-mail) welcome@japankatarinet.jp

(HP) <http://japankatarinet.jp/>

2015. 7. 17 発行

ニュース

読みやすく！楽しく！！ ニュース編集担当から

早乙女由美子（NPO 法人全日本語りネットワーク理事）

5月24日、NPO 法人全日本語りネットワーク平成27年度総会が行われました。参加者は多くありませんでしたが、委任状にはたくさんのメッセージを書いていただきました。会員の皆さんがそれぞれの地域で活躍されている様子、いろいろな事情で今は思うように活動できないけれど語りは続けていきたいという思い、そして「全日本語りの祭り」やニュースへの感想や意見…。今年は特に昨年の南三陸での祭りの祭りが良かったという声が多く、次回への期待も寄せられています。4ページに一部紹介していますので、ぜひお読みください。

さて、ネットワークの最も大切な事業は、言うまでもなく2年に1回の「全日本語りの祭り」の開催です。しかし、場所や時期、そのほかの事情から参加できない会員が少なからずいるのが現状です。運営理事会では語りの普及事業として、楽しく学ぶ「楽習会」を年1~2回行っていますが、どうしても東京、埼玉等首都圏での開催になります。そこで、全国に散らばる会員同士を結ぶ手段として、「NPO 法人全日本語りネットワークニュース」があると思います。

私が前理事長の佐藤涼子さんに声をかけていただいて、全日本語りネットワークの運営に参加したのは2003年、第7回伊豆市の開催準備からです。ニュースの編集は、2006年7月号No.19から引き継ぎました。思い返すと当時は、慣れない編集作業もさることながら、印刷も印刷機を借りて運営委員が自分たちでやっていたのです。今はインターネットの業者に注文するとカラーで印刷できるので、隔世の感があります。

ニュースを編集していると会員一人一人の語りへの思いが伝わってきます。千差万別、様々な思いを感じます。そんな思いを、ニュースを通して受け止めて会員同士が交流し、絆が結ばれていくことを願っています。

ところで、ニュースに不可欠な要素は何と言っても、記事です。読んで楽しい、役に立つ、勉強になる…運営理事会でいつも頭を悩ませるところです。おはなし会・テラブレーション情報はずっと末吉正子理事が担当していますが、情報を集めるのはなかなか大変です。そこで、会員みなさん、語りの会の情報、記事をお寄せください。また、前号から「会員通信 こんなことやってます」を始めました。500字の紹介文です。どんな活動をされているのか、ぜひお知らせください。そしてこれも前号から「シリーズわらべうた」を掲載しています。2回目は紙面の都合で次回11月号に載せますが、シリーズとして続けていきたいと考えています。語りの会でわらべうたを積極的に取り入れている、わらべうたを勉強している会員からの情報をお待ちします。

そして最後に、素人が悩みながら紙面づくりをしています。読みやすい、読みにくい、こんなふうに改善したら等のご意見もお待ちしています。これからも読みやすく楽しいニュースづくりに励んでいきたいと思っています。

